

東京出身、静岡県で独立就農（伊豆の国市）

R6.1.18訪問



お名前	阿部 友里さん
就農した時期	2023年1月（就農1年目）
栽培品目	いちご（紅ほっぺ）
栽培面積	24a
販路	JAふじ伊豆へ全量出荷
働き手	本人・パート2名



■ 就農したきっかけ

小学生のとき、学校で田植えを体験する機会があり「農業っていいな」と思ったことが農業に関心を持ったきっかけです。大学で農業を学んだあと、静岡県掛川市にあるいちご生産の農業法人に就職しました。農業法人でいちご栽培の技術を学ぶ中で、独立就農を考えるようになり、7年間勤務した農業法人を退職しました。その後、静岡県の「がんばる新農業人支援事業」を活用し、就農支援が充実していた伊豆の国市で、指導農家の研修を一年間受け、2023年1月に独立就農しました。

■ 就農して苦労したこと

農地については、指導農家を通して見つけることができましたが、ハウスの建設や高設栽培システム設置などにより、初期投資が非常に高額になりました。このため、日本政策金融公庫の「青年等就農資金」や県の「施設園芸大国しずおか構造改革緊急対策事業」、国の「農業次世代人材投資資金（準備型）」「経営開始資金」を活用しました。

■ 今後の課題

現在自身とパート2名で作業をしていますが、これから迎える収穫最盛期に人手が足りるのか心配しています。周囲もいちご農家が多いため、最盛期の労働力確保が今後の課題です。

■ 新規就農を目指す方へメッセージ

シーズンを通して自ら経験することが重要です。いちごの生育は、天気や気温など自然環境に大きく左右されますので、経験がある方がその場その場に応じた対処もしやすくなります。また、収穫シーズンは、毎日いちごの収穫とパック詰め作業になりますので、同じことをコツコツ続けることが好きな方が向いていると思います。